

令和2年度 第4回真庭市図書館基本計画策定委員会 議事概要

日時：令和3年(2021年)3月10日(水)

午後1時～3時

場所：真庭市立中央図書館3階 会議室

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 開会2. 協議事項<ul style="list-style-type: none">◆ 計画素案について3. その他4. 閉会 |
|--|

1. 開会

- ◆ 教育長挨拶

(事務局より)

- ◆ オブザーバー参加1名

- ◆ 今後の予定

4月にパブリックコメントを実施。これによる修正等は事務局が会長と相談の上行う。

2. 協議事項

- 計画素案について

事務局より素案について説明

(会長) 前回までの指摘事項、意見等が反映しているか。その他気づいたことがあればご意見をいただきたい。

(委員)

- ◆ アクションプランを今後5年間で実現する手伝いをしたい。
- ◆ 現在の評価指標では学校図書館蔵書のデータベース化やイベントの開催等を評価できないのではないか。

(事務局)

- ◆ 市民が繋がる地域交流拠点をめざすということで「来館者数」を検討したが、来館せずに利用できるということが評価できないのではないかと考えた。図書館から地域のイベントに出向いた時間数と参加人数、あるいは子どもの読書活動に関わる指標等も考えられると思う。

(会長)

- ◆ アウトリーチサービス(遠方の保育園や幼稚園に出向いての読み聞かせ、子育て支援講演会等の保育園や幼稚園での開催等)の回数や参加人数。市民協働で行った事業の回数と参加人数。不読率や学校図書館の図書標準、学校図書館の貸出冊数、学校司書配置などを使ったことがある。

- ◆ 館長より学校図書館を使った授業時間数はどうかという意見もいただいていた。

(委員)

- ◆ 前回の基本計画と比較して、今回の計画はアクションプランがしっかりあり、図書館そだて会議での意見が計画策定に反映されたことが分かる等、策定プロセスが見えることが素晴らしい。市民目線で見て分かりやすい。
- ◆ 19ページまち並み図書館について、面で広がっている状態を「めざす姿」として書いてほしい。
- ◆ 38ページにまち並み図書館についての課題認識が書かれている。これを克服する具体的な取り組みを19ページに書くとよい。
- ◆ 学校だけでなく地域と連携することで子どもの読書や考え方が広がることを痛感している。
- ◆ 20ページで図書館そだて会議での提案の実現状況が分かるのはよい。計画に図書館そだて会議の意見が記録されていることで、会議の参加者は自分事になる。次のそだて会議に違う人が集まり、社会情勢が変わっていても伝わると思う。様々な立場の方の意見があり、それが反映していることは大切。
- ◆ 学校図書館との関連では、司書派遣についてや市の図書館との連携についての指標はどうか。
- ◆ 子どもは地域の宝。13～15ページに、学校図書館のことがしっかり書かれていてありがたい。停滞気味であった学校図書館が活性化すると思う。
- ◆ 学校司書による授業参画については中学校では難しいかと思うが、学校以外の立場から発言していただけてありがたい。
- ◆ 13ページ、さまざまな家庭環境の子がいるなかで、学校だけでなく市立図書館でもPCにふれられるようになるのはよい。

(会長) 学校図書館との関係について事務局のほうから補足はあるか。

(事務局)

- ◆ 来年度、学校図書館蔵書のデータベース化の予算を確保した。2年間かけて実施する予定。将来的には市立図書館の全蔵書を学校図書館で活用しやすくしたい。学校司書の授業参加は今後の課題。

- ◆ 地域の図書館が参画することで忙しい先生方の支援をしたい。

(委員)

- ◆ 園の子どもたちと図書館へ行く、あるいは図書館から自動車文庫などが来てくれると子どもが自分で本を選ぶことができ、より本に興味を持つだろう。園長会でこの委員会での話を共有していきたい。
- ◆ 20 ページ。スーパーマーケット等で「お客様の声」に対してお店側が応えているような形で継続していけたらよい。
- ◆ 図書館で wi-fi が自由に使えるとのことで、スマホを使いこなしている子どもの居場所になると思う。

(会長)

- ◆ 多くの委員からご指摘のあった 20 ページ、実現したことや準備中のことを発信するのは誠実であり、市民と行政の信頼関係を高める。要望に応えましたという感じのままだと、サービスを提供する側とされる側という意味合いが強くなってしまう。次回は、協働の考え、住民自治のパートナーとしてのニュアンスが出る書きぶりを工夫してみしてほしい。
- ◆ 子どもだけではなく、市民の読書環境を整える計画とするとの考えは素晴らしい。しかし、努力義務として法律に明記されている。そこで市民全体の読書活動推進の意味合いは基本計画のなかに含むと考え、「子ども読書活動推進計画」という名称を併記してはどうか。7 ページの「行動の柱」の②にも括弧書きで子ども読書推進計画との関連があること表記されているとよいと思う。4 ページの「(1)上位計画との関係」の部分、「同時に」で始まるパラグラフは項目を分けて表記してはどうか。
- ◆ アクションプランと総合計画との関連性を明記している点は、ほかの自治体ではあまり見られないことでいいと思う。
ここからは自由に発言をどうぞ。

(委員)

- ◆ このみらい計画も「教材化」できないかと思う。
- ◆ 今月の「月イチ映画会」でのミャンマー映画の上映時に行う座談会に、高校生とともに関わる予定。資料を紹介してほしい。

(事務局)

- ◆ みらい計画の「教材化」については今思いつかない。
- ◆ 高校生がミャンマーについて理解して紹介できるような資料としては、写真の多いものや時事問題を簡潔にまとめた週刊誌類。児童書なども活用できる。

(委員)

- ◆ 教科書だけ使って教えるのではなく、たとえば SDGs やバイオマスについて学ぶなかで教師がファシリテーターとなり、子どもたちが自分たちで教材を作り上げることを「教材化」と呼んでいる。
- ◆ 館長から以前話のあった「図書館は市民がオーナー」という考えが自分の中にずっと落ちた。「応援団」ということばだとちょっと他人事な感じがする。
- ◆ 図書館の HP に計画策定の進捗を知らせる「図書館そだて中」というページがある。ここに計画策定がゴールなのではなく、図書館をずっとそだてて行くという意味のことが書かれていていいなと思った。
- ◆ 年に一回でも図書館そだて会議を学校で行ってはどうか。学校で子どもの声を聴くということもよいのではないか。
- ◆ 図書館そだて会議の学校での開催は子どもたちも喜ぶと思う。市立図書館から来て直接呼びかけてくれるとよい。年に 1 校ずつとか図書委員と行うなど、可能な方法で。

(事務局)

- ◆ 子どもたちにも図書館そだて会議に参加してほしいと考えていたが、開催日時が授業時間中や夜となることが多くあきらめていた。学校開催はぜひ検討したい。

(会長) 事務局側からほかに何かあれば発言を。

(教育長)

- ◆ 図書館から出向いて行くことは実現可能。一方で図書館そだて会議を学校で開催することもいいが地域の多くの世代と一緒に参加できるとよい。
- ◆ インターンシップのように仕事を体験することで深く関わりを持ち、子どもは育つと思う。自分はお客さんではなくて自分事として関わるのが地域自治として大切なこと。
- ◆ 館長が地域の図書館で学校を支えていくと言われたことは改めて大事だと思う。

(館長)

図書館も主体的に動いていくことが重要。来館者数は指標としては実情に合わないように思う。

(会長)

- ◆ 現在、電子書籍を導入している日本の図書館は約 3000 館中 110 館ほど。図書館で使える電子書籍は 7～8 万タイトル程度で、図書館で提供するには少ない。設備投資が約 200 万円、維持費が約 100 万円と高額である。2 年で権利がなくなったり、貸出回数

の上限があるといったこともある。今後、図書館と出版社と一緒に考えていく必要がある。いずれは電子書籍の利用状況も指標となると思う。

ここで計画策定支援をしてきた arg からコメントを頂きたい。

(arg)

- 「教材化」について。真庭市は SDGs が盛んに言われる前から持続可能なまちづくりに取り組んできたまちということで、「真庭市ならではの SDGs」について図書館と議論を重ねてきた。SDGs に関する本を集めて棚を作っている図書館は多いが、どこも自分ごととして考えるようなしかけはない。SDGs を知ってもらおうというのであればそれでもよいが、一歩踏み込んでそれを手法として何を伝えていくかを考えた取り組みがほしい。SDGs を学ぶのではなく、SDGs を通じて地域を見つめ直すことができればよいと思う。真庭市では、酒造、暖簾、伝統工芸等と SDGs とを結び付ける展示やプログラムを通して図書館で作っていただけたいと思う。
- 学校との連携は図書館と学校との関係性ができていないと困難。若い人が普段過ごしているところと違う場所で意見を言うのは難しいので、リアルな声を聴きたいのであれば、図書館のほうから出向いて行くことも来年度以降実現できるといい。

(会長)

- 最後に、計画の 23 ページ、機構図職員配置図について気になる点を指摘したい。図書館振興室は生涯学習課の課内室として書かれている。地教行法(「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」)上、図書館は独立した教育機関なので今の真庭のこの位置づけには違和感を感じる。

-- 議事は以上 --

3. その他

(事務局)

- 計画に委員の皆さんからのコメントを掲載する。3月12日までに事務局宛に送付をお願いします。

4. 閉会

(副会長)

- 教育長からはじめに「みらい計画」の未来ということばにふさわしい元気の出る会に、ということばがあったように、私はこの会議から元気をもらった。事務局は毎回たくさんの資料を準備してくれた。情熱と愛がないとできないと思う。この計画を市民に理解していただき、多くの方に関わっていただけると嬉しい。ありがとうございました。

以上